

第2回

柔道インテリジェンスフォーラム

2019年8月23日（金）

13:30 - 15:30

東京ドームホテル大宴会場「天空」

参加費無料

東京オリンピックまであと1年、
これまでスポーツやアスリートを
支えている人たちが、東京五輪以降の
スポーツやアスリートを支えていく人
たちに何が残せるか考えるフォーラム



主催：全日本柔道連盟科学研究部
問合せ：info@japan-judo.org

主な登壇者



久木留 毅

(独立行政法人日本スポーツ振興センター
ハイパフォーマンススポーツセンター
国立科学センターセンター長/専修大学 教授)



窪 康之

(独立行政法人日本スポーツ振興センター
ハイパフォーマンススポーツセンター
国立科学センタースポーツ研究部副主任研究員)



衣笠 泰介

(独立行政法人日本スポーツ振興センター
ハイパフォーマンススポーツセンター
国立科学センタースポーツ研究部前任研究員)



ライトナー・カトリン・友海子
(立教大学コミュニティ福祉学部 准教授)

科学研究部員



プログラム



13:30-13:35	開会挨拶 小山勝弘（全柔連科学研究部副部長・山梨大学教授）
13:35-13:50	リサーチトピック 「柔道競技の運動強度定量プロジェクト ～打込から実戦まで～」 ・ 柔道競技の運動強度定量プロジェクト① ～実際の試合を対象として～ 廣川充志（全柔連科学研究部・桐蔭横浜大学講師） ・ 柔道競技の運動強度定量プロジェクト② ～打込の柔道生理生化学的基礎研究～ 松井崇（全柔連科学研究部・筑波大学助教）
13:50-14:00	「撮影力」 佐藤武尊（全柔連科学研究部部員・皇學館大学准教授） 鮫島康太（全柔連科学研究部部員・筑波大学附属高等学校教諭）
14:00-14:10	「柔道における競技パフォーマンス構造分析」 衣笠泰介（独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンス スポーツセンター ハイパフォーマンス戦略部主任専門職/ 国立スポーツ科学センタースポーツ研究部前任研究員） 石井孝法（全柔連科学研究部・了徳寺大学准教授）
14:10-14:20	「国立スポーツ科学センターの科学的支援」 窪康之（独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンス スポーツセンター 国立スポーツ科学センタースポーツ科学部副主任研究員）
14:20-14:30	「外国人からみた日本柔道の「ふしぎ」とその評価」 ライター・カトリン・友海子（立教大学准教授）
14:30-14:40	「東京五輪後の柔道に関わる人たちの生き方」 佐藤伸一郎（全柔連科学研究部部長・拓殖大学教授）
14:40-14:55	「ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）における Tokyo 2020 and Beyond に向けた取り組み」 久木留毅（独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンス スポーツセンター 国立スポーツ科学センター センター長/専修大学 教授）
14:55-15:05	コーヒーブレイク 時間調整
15:05 -15:25	「次世代が夢みるスポーツ界になるために」 JSC 久木留, 窪, 衣笠泰介（国立スポーツ科学センター前任研究員） 全柔連 佐藤, 石井
15:25-15:30	閉会の言葉 佐藤伸一郎